

遊びや場面		運動会（行事）		知識及び技能の基礎			思考力、判断力、表現力等の基礎				学びに向かう力、人間性等			
接続期までの遊びや学びのプロセス				・ 種目の内容やルールが分かり、種目に必要な動きを身に付ける。 ・ 共通の目標を達成するためには仲間と相談したり、助け合ったりすることが大切であることが分かる。		・ 勝つため、成功するためにどうしたらよいかみんなで考えを出し合う。 ・ クラスの友達と体を使って表現する中で、掛け声や音楽でみんなの動きや気持ちを合わせる楽しさや必要性を感じ、繰り返し取り組む。		・ うまくいかなくてもあきらめずに繰り返し取り組むことで目標に近づいていくことを感じる。 ・ 相手の立場や気持ちを理解しようとする。						
0 歳	・ 寝返りやはいはいができるようになり、体を動かそうとする。	【接続期】 5 歳児後半	幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現	
1 歳	・ 自分の意志で自由に動けることを喜ぶ。		◎	◎	◎	○		○	○			○		
遊びや学びのプロセス														
2 歳	・ 進んで戸外に出て遊ぶようになる。		・ 運動会に向けてクラスやチームの仲間と共通の目的をもつようになる。 ・ 話し合いや気持ちを合わせることの大切さを感じながら活動を進めるようになる。 ・ 体を思い切り動かすことを楽しむ中で、難しいことにも仲間と協力することで乗り越えられることを感じる。 ・ 自分の力を発揮したり、友達の良さを認め合ったりしながら、協力して遊ぶ楽しさや充実感を味わう。											
3 歳	・ 周りの友達と一緒に同じ踊りや競技をする楽しさを感じるようになる。		環境・援助のポイント											
4 歳	・ グループの一人として勝敗のある活動に関わる楽しさを感じるようになる。		・ クラスの仲間同士やクラス全体が協力する大切さを感じられるような競技内容となるよう検討する。 ・ クラスのみんなでどんな運動会にしたいか話し合い、クラスの目標や運動会までの見通しをもつ。途中、振り返りの時間を持ちながら進捗状況をみんなで確認していく。 ・ 葛藤を通して、互いを批判せず励まし合うことで成功に近づいていくことが感じられるよう取り組みを見守る。											
5 歳前半	・ クラスの仲間と運動遊びに取り組む楽しさを感じるようになる。		小学校のスタート カリキュラム		学校行事：運動会 体育科「かけっこ・リレー」									





幼児教育と小学校教育が
つながって
どういうこと？



第2章

各教科等における
学びのつながり

授業展開例



体育科

担当者からのメッセージ

お話し

田中 幸先生 / 奥田 正幸先生

体育科の特徴



特別活動

担当者からのメッセージ

お話し

伊東 直美先生 / 忽那 沙知先生

特別活動の特徴

